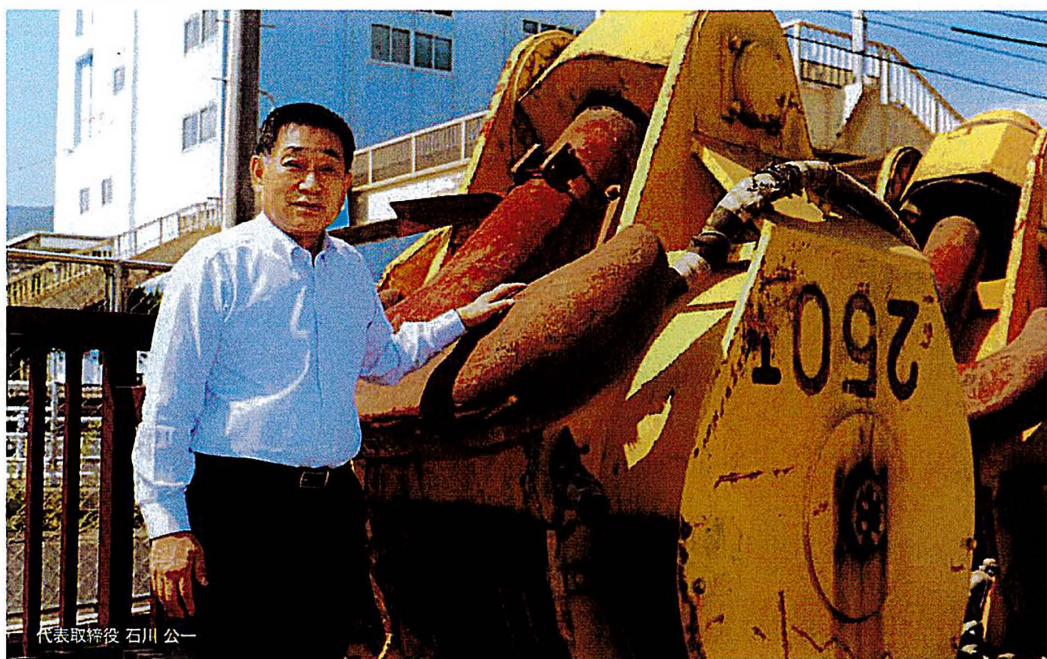




代表取締役 石川 公一

## 株式会社石川興産

北九州市小倉北区

### 街を再生する解体事業を通じて、確かな信頼の基盤を構築

株式会社石川興産は、北九州エリアで30余年にわたり、解体工事とスクラップ販売事業で確かな実績と信頼を積み重ねてきた。2021年4月に法人化を果たし、さらに第3の柱として不動産事業にも進出。第二の創業期を迎えた同社の軌跡と展望について、石川公一代表取締役と話を伺った。

#### 小倉のシンボル 旦過市場の復興に尽力

「北九州の台所」としてにぎわっていた旦過市場が、2度の大規模火災に見舞われた。同社は火災後、現場でがれきの撤去作業や焼失店舗の解体作業にフル稼働している。

大型車両が入りにくい狭い通路、前面道路の通行規制、近隣店舗の営業への配慮など、さまざまな条件が重なる難工事である。また、北九州市の北橋市長自ら早期復興を言明したが、がれき撤去作業には公費負担が無い。そこで、旦過市場を運営する小倉中央商業連合会はクラウドファンディングで資金を調達。復興をめざして多くの力が一つになった。

「私たちも採算より、とにかく地元のシンボル復興に貢献したいという思いで取り組んでいます。難しい工事ですが、これまでに培った技術をぜひ復興に役立てたい」と、石川公一社長は引き締まった表情で語る。

#### 企業 DATA I

企業名 株式会社 石川興産  
代表者 石川 公一  
所在地 〒807-0071 福岡県北九州市小倉北区須賀町21-1  
TEL 093-511-3666  
設立 2021年1月  
業種 解体工事・スクラップ販売・不動産事業  
公式ウェブサイト <https://ishikawakousan.com/>



2021年1月に開設した「くさみ倉庫」

## 紆余曲折を経て築いた 絶対的な信頼の基盤

始まりは戦後まもなくのことだ。徳島出身の父親が、朝鮮より帰国し、仲間と一緒にスクラップ業を立ち上げた。1948年生まれの子の代である石川社長は、戦後復興期の最前線で汗を流す父の姿を見て育つ。長じて、自身も大阪で修行時代を

過ごし、帰郷して父の事業を支えた。将来を見据え、北九州で初めて解体機械のギロチンや大型トレーラーなど大型機材を導入し、積極的な設備投資を進めた。ところがバブル崩壊で事業は暗礁に乗り上げる。会社を清算し、もう一度新たなスタートを切るため、個人で石川興産を立ち上げた。以来30余年。地道な経営に徹し、その中で確かな信用と信頼を積み重ねてきた。取引

先には、大手・名門の鉄鋼メーカーや化学メーカーの名がずらりと並ぶ。豊富な人脈から確かな情報が次々に寄せられ、同社の堅固な事業基盤が構築された。

## 新生・石川興産に向けて 再始動する、今

2021年1月に法人化し、6月には小倉南区朽網のTOT小倉第二工場向かいに「くさみ倉庫」を開設した。トラック10台、重機類10台を擁する70トン公認計量所として機能し、今後の事業展開を担う重要拠点となっている。

「私が長年この世界で培ってきた知見、そして多くの方々に支えてもらった人間関係が今の石川興産につながっています。昨年の法人化やくさみ倉庫の開設は、言わば、新生・石川興産に向けた再始動の取り組みです。自分たちの仕事、誰の役に立っているのかを常に意識しながら、これからも歩んでいきます」と、穏やかに語る石川社長が創造する、同社の今後に期待したい。

### 石川 公一 (いしかわ こういち) / 代表プロフィール

1948年、北九州市小倉北区生まれ。幼い頃から解体スクラップ業を営む父の姿を見て育つ。大阪の商社系鉄鋼問屋で5年間修業し、帰郷して父の事業に参加。バブル崩壊後の激動期を経て、1991年に石川興産を創業し、現在に至る。



石川 公一 社長



# 株式会社 石川興産

ISHIKAWAKOUSAN CORPORATION

〒 802-0034 福岡県北九州市小倉北区須賀町 21 - 1

TEL 093-511-3666 FAX 093-511-3669

Email : [ishikawakousan@ybb.ne.jp](mailto:ishikawakousan@ybb.ne.jp)



九州地区の解体業・総合建造物解体。お見積り無料！お気軽にお問合せください。

<http://ishikawakousan.com/>

---